

THE LEADING EDGE OF TECHNOLOGY  
**ARAYA**<sup>®</sup>  
<http://araya-rinkai.jp/>

TOURING SERIES

日本を徹底的に追求した、スポーツ車。

新家工業株式会社  
ARAYA INDUSTRIAL CO., LTD.

MUDDY FOX SERIES





1967 Swallow Camping



2010 Excella Sportif



2010 Swallow Randonneur



2016 ARAYA Tourist



2018 Swallow Randonneur

ツーリング車の追求

スポーツ車の最大の魅力は、ツーリング車としてサイクリングでしよう。競技を主に置くアスリートにおいても、機材であるロードに乗って、ツーリング的な楽しみを見出している方は少なくないはずだ。

ツーリングを主に置くのであれば、自転車は機材という枠を離れ、旅の道具としての端正な佇まいも求めたくなります。雨の多い日本の風土に必要なフタやバッグや荷物を積むためのキャリア等は、旅への機能であり、美しく組み付けられたそれらは、雰囲気への演出要素も大きいはずだ。現代的な自転車には見られないこれらの要素。今までは、一部愛好家だけのオーダー車の世界でもありました。

日本で育まれたツーリング車の設計思想を引き継ぎ、現代的な部品仕様でアレンジしたジャパンクラシック。製品として誰でも入手できることを目指し、高いステータス性のあるモデルから、気軽に旅を楽しみたいモデルまでラインナップしました。

JAPANESE  
CLASSIC & MODERN



1946 金ツバメ \*1st Swallow bicycle

日本のスポーツ車

アラヤは1903年、日本で初めて自転車用リムの生産を開始しました。ツバメ自転車は、戦後間もない1946年から生産・発売。キャッチコピー「二台にまさるの一台」とおり、金ツバメは当時の自転車の約二倍の価格でしたが、二台の自転車以上の寿命を有する高い品質を誇っていました。

ツバメ自転車は、日本の高品質自転車のブランドになりましたが、それ以外にも独自性が高い多くの自転車を開発し、スポーツ志向の高い自転車にも挑戦してきました。価格よりも品質を追求した金ツバメの思想も継承し、販売の易さよりも、オリジナリティを優先した自転車創りに顕れています。当時入手困難な輸入部品を多く採用し、内製のキャリアやオリジナルBBセットを装備した本格的キャンピング車や、1964年東京オリンピック開催を控え競技機材として開発したロード等を1960年代に発売。独創のフォルディングバイク、小径車、そして1982年の国内初のマウンテンバイクマディフォックスも、ツバメ自転車の遺伝子から、アメリカで芽生えたばかりのMTBへいち早く着目して、開発に辿りついたと言えます。

また、日本全体においても、自転車の愉しみ方、自転車創りの文化は世界に誇れるものがあります。近年ではシングルスピードあるいは小径車など世界に向けた日本発信のものが少なくありません。

日本の自転車を見続けてきたARAYA。欧米にも影響を与えた伝統的なツーリング車、そして今後の自転車とあらゆる可能性を求めて、クラシックとモダンコンセプトを展開します。

日本の自転車ブランドを自負。ARAYAの矜持です。





# TUR

ARAYA Touriste

Size : 490, 530, 570mm  
 Color : Bordeaux Red (490, 530mm)  
 Natural Khaki (490, 530, 570mm)  
 Midnight Blue (530mm)

¥99,000 (消費税別)



TUR 530mm R  
 (アラヤ・ツーリスト ボルドーレッド)



TUR 490mm KA  
 (アラヤ・ツーリスト ナチュラルカーキ)

伝統的なツーリング車の様々な活用シーンを発見することも、新たな愉しみでもあるはず。アラヤ・ツーリストは、ツーリングだけでなく、速く走りたい欲求も起きるでしょうし、街を流すにも最適。旅の自転車に閉じ込めておくには少し惜しいかもしれません。

伝統的自転車における新思考  
 アラヤ・フニテラルで提案した日本におけるホイールのゴールデンサイズであるハチサン26×1.3/8。欧州ホイール規格のE.T.R.T.Oでは590に相当し、スポークパイクの標準ホイールサイズの26サイズ559と700Cサイズ622のちょうど中間になります。ハチサンは、昨今主流になるMTBの27.5にも通ずるところもあり、オールラウンドな走行性を有したサイズとも言えます。フレームポンプ用のベグヤアルミ製フエンダーの採用など、上位機種ランドナーの仕様も盛り込みました。長年のARAYAのツーリング志向もバックグラウンドに、ミドルレンジのツーリング車を新たに提案いたします。

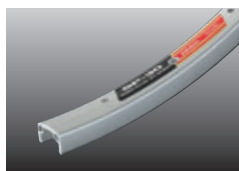
## CUSTOMIZE

### ▶ OPTION PARTS

**NITTO** キャンピー キャリア  
 フロントセット ¥23,600 (取付料別・消費税別)  
 リアセット ¥23,600 (取付料別・消費税別)  
 前後フェンダーステーダルマネジセット ¥3,500 (取付料別・消費税別)



日東キャンピー前後セット装着イメージ



### ロストワックスクラウン & 輪行仕様

上位機種RANと同仕様の、精密キャストで製作されるロストワックスクラウンを採用。クラウン幅と、フォークレーク長は、太めの650×38Bタイヤの換装も可能にしています。マッドガードステー固定部には、RANと同仕様のオリジナルステンレスダルマネジを採用し、D環付ボルトでステーの脱着・アジャストが容易。シートステー、チェーンステーに直付されたチェーンフックも輪行を考慮した仕様となっています。

### オールクロモリ ラグフレーム

イタリアンカットラグで構成されるオールクロモリの伝統的なフレーム。トップチューブ水平水平ゾンテラフレームのある意味デメリットでもある、絶対的なハンドルの低ポジションを排するために、ヘッドラグと同外径の15mmリングをロウ付・面加工を行いハイヘッドとして、理想的なハンドルポジションを確保しました。輪行仕様のリテーナー脱落防止機能を有したマイクロアジャストヘッドセット、RANと同仕様のアジャスター付のダイヤコンベアブレーキレバーも採用しています。

## ARAYA Rims

SP-30

ランドナーなどツーリングモデルの定番ともなったスクエアなデザイン  
 の23mm幅W/Oリム。強度レベルの高いMTBRリム等との比較試験を行い、従来より強度基準を向上させ、新型断面設計を施しました。

SWALLOW Randonneur

# RAN

Size : 550mm  
 Color : Dark-moss Green  
 Maple Red

¥198,000 (消費税別)



RAN 550mm G  
 (スワロー・ランドナー ダークモスグリーン)



これからできる、小さな旅  
 1967年、当時では希少だった欧州部品を積極的に採用し、フレーム・キャリアは内製。キャンピング自転車の想を追求したのがスワロー・キャンピング(S・C)でした。当時の大卒初任給の三倍の価格でしたが、スポーツ車にも「二台にまさるこの一台」というツバメ自転車のコンセプトを貫いていました。  
 ランドナーはフランスで発祥し、長い年月で日本独自の旅自転車として発展してきました。スワロー・ランドナーは、S・Cの血統を継承し、熟成の日本ブランドパーツを積極的に採用し、ツーリング車としての機能と美しさを凝縮した自転車です。  
 27.5MTBで見直された650Bホイールを採用し、全面的にフレームを新設計。42Bタイヤ装着も可能で、ブレーキケーブル内蔵なレグレイドアッパも実現しました。遠い昔に体験、または夢見た遠乗りはできなくとも、ランドナーで週末の小旅行を愉しんでみてはいかがでしょうか。



## ARAYA Rims

TX-310F

ダブルウォール断面で設計され、強度アップと軽量化が実現したツーリング用650Bリム。スポークアジャスト(ハトメ)も設けられ、高いスポークテンションに対応します。

## CUSTOMIZE

### ▶ OPTION PARTS

**NITTO** キャンピー キャリア  
 フロントセット ¥23,600 (取付料別・消費税別)  
 リアセット ¥23,600 (取付料別・消費税別)  
 前後フェンダーステーダルマネジセット ¥3,500 (取付料別・消費税別)



RAN 550mm G  
 (スワロー・ランドナー ダークモスグリーン)  
 日東キャンピー前後セット・本所H79  
 装着イメージ



### 旅へ誘うランドナースペック

緩やかに広がり、優しいラインを描く日東B135ランドナーバーは、ツーリングでの理想のポジションを求めた最終形状とも言えます。また、細部に亘るまで様式美を貫き、ステーや背もたれ部分の配置を追求したスワロー・ランドナーのためのオリジナルのバイ製小型キャリアも日東製。輪行にも便利なブレーキケーブル上出しのダイヤコンベア 204QCブレーキレバーには、グランコンベアブレーキアジャスターが追加され、リヤ10段シフトを備えるSHIMANO TIAGRAをスペック。全てに亘りランドナーのためのスペックを具現化しています。



# DIA

| ARAYA Diagonale |

Size : 460, 500, 540mm  
Color : Dark Gray  
Light Beige

¥85,000 (消費税別)



DIA 540mm GY  
(アラヤ・ディアゴナル ダークグレー)



DIA 500mm B  
(アラヤ・ディアゴナル ライトベージュ)



DIA 460mm GY  
(アラヤ・ディアゴナル ダークグレー)

標準仕様でも十分にツーリング可能ですが、オプションのキャリア装備により、快速ツーリング仕様へカスタマイズすることも可能です。

## ▶OPTION PARTS

**NITTO** フロント・リアキャリア

フロントキャリア (CA-RAN) ¥10,500(取付料別・消費税別)	リアキャリア (CA-RRR) ¥12,600(取付料別・消費税別)
--	--

**速く快適なブルベとは**

ランドナーと同じく、日本のスポーツ車の故郷でもあるフランスに源を辿るディアゴナル。フランス全土のディアゴナル、つまり対角線にあたるコースを制限時間内に走る長距離サイクリングのことで、現在というところのブルベ、ロングライドになります。レースではありませんが、スポーツ志向の高いサイクリングといえましょう。また同時に、ツーリングに必要なスキルや装備も必要になるものです。

長距離を早く、そして快適に走るためにスポーツ車を見つめなおしました。高速ツーリングに適した700Cホイールには、一般的なロードバイクより少し太めのタイヤを履き、変速、駆動、制動系部品はSHIMANOロードバイク系コンポーネントで統一。デュアルコントロールレバーによりツーリング時の高速巡航を快適にし、前後のフエンダーや輪行ツーリングに便利なカートリッジ式のヘッドセットも標準装備しています。

スポーツ車の定番700Cホイールにも、ARAYAの独創を提案いたします。



## SHIMANO CLARIS & チェーンフック

SHIMANO CLARIS R2000シリーズをハブに至るまで採用。8段11-32Tカセットギヤと、ギヤガード一体型のフロントコンパクトドライブ50-34Tによりワイドなギヤレシオを獲得し、ツーリングにも有効です。また、チェーンフックをシートステー、チェーンステーの2箇所に配備し、輪行にも便利な工作を施しています。



## ARAYA Rims TX-733

高強度ダブルウォール構造でありながら低いリム高さを有したTX-733は、チューブラーリムと同様のスリーブジョイントも採用。トラディショナルなスポーツ車にもフィットしたデザインも魅力です。

| ARAYA Federal |

# FED

Size : 440, 500, 540mm  
Color : Deep Blue  
Forest Green  
Canyon Brown

¥62,000 (消費税別)



FED 500mm BL  
(アラヤ・フェデラル ディープブルー)



FED 440mm BR  
(アラヤ・フェデラル キャンピオンブラウン)

**サイクリング車への回答**

スポーツ自転車の原点は、移動する楽しみであり、ツーリング、スポーツライディングから街乗りまで多くの意味合いを含んだ「サイクリング」につきます。スポーツ車が多くなるバリエーションから選べるようになったのは嬉しいことですが、気持ちよく移動するためのスポーツ車を選ぶのは案外難しいものです。

かつて、ランドナーの豪華な仕様を簡素にまとめ、サイクリングのための自転車としてフェデラルカテゴリーが提唱されました。それを現代に訳した回答がここにあります。シンプルなデザインの中にサイクリングというベーシックな性能を凝縮させ、所有するためのハードルを下げた中にも高機能とハイグレードな仕様を奢りました。

日本の標準ホイールサイズとも言える26×1 3/8を装着したプロポーションは、ある意味新鮮なスポーツ車と言え、また、ホイールの補修性にも優れます。

## CUSTOMIZE

標準仕様でも十分にツーリングに活用可能ですが、オプションのフロントキャリア装備でランドナーの機能や、キャンピー装備でロングツーリングを愉しむことも可能です。

### ▶OPTION PARTS

<b>NITTO</b> キャンピー キャリア	
フロントセット ¥23,600 (取付料別・消費税別)	リアセット ¥23,600 (取付料別・消費税別)



FED 540mm G  
(アラヤ・フェデラル フォレストグリーン) 日東キャンピー前後セット装着イメージ

※440mmサイズはシートステーが低いので、キャンピーリアセットが取付できません。



## 全てにおけるハイグレードスペック

メンテナンスを重視したフルSHIMANOコンポ。ALTUSリヤ8段仕様だけでなく、安全性を高めるためブレーキにはSHIMANOカンティプレキを採用し、ハンドル上部に配されたセーフレバーにより、安定した制動操作も可能になっています。ギヤクランクには4アームデザインのSR-SUNTOUR XCTチェーンホイールでグレード感を向上。輪行時等に役立つチェーンフックも追加し、全てにおいてツーリングに十分応えるハイグレードな仕様を誇ります。26×1.3/8ホイールは、最も普及したサイズで高い補修性を実現。700Cと26H/Eホイールの中間になるサイズは、アラヤ・フェデラル独自のプロポーションを演出するとともに、日本人に一番適したホイールサイズとも言えます。



# PRM

Size : 450mm  
Color : Steel Gray  
Desert Khaki

¥85,000 (消費税別)



PRM 450mm Mixte KA  
(スワロー・プロムナード デザートカーキ)



PRM 450mm Mixte GY  
(スワロー・プロムナード スチールグレー)



## ハブダイナモ&ライト装備

シマノハブダイナモは、クイックレバーも備えたスポーツタイプ。光センサーを装備したメッキ仕上げ上砲弾ライトは、高輝度LEDが採用され高輝度で低電気消費仕様。大きく抑えられたダイナモの回転抵抗と共に、夕夜間などでライトが自動点灯した際にも、脚への負担がほとんど感じないシステムが構築されています。また、切替スイッチにより常時点灯も可能で、街中走行での認知度を向上させ安全性を高めます。ダイナモコードは、フォークブレードに内蔵され、端正なプロムナードの外観を損なわない工夫が施されています。



## 自転車散歩仕様

SUGINOアルミ鍛造チェーンホイールにはギヤガードが装備され、さらに肉厚のアルミポリッシュ仕上げチェーンケースが標準装備。普段着でのボトムの裾汚れを抑えました。ともにツバメロゴレーザー刻印が施されています。PRMの印象を強く主張する美しい形状のプロムナードハンドルバー、革底ソール靴との相性も考慮され、ラバープレートを備えた一体成型アルミボディペダル、フルレングスのアルミポリッシュフェンダーなど、隅々まで自転車散歩を考慮した、特別仕様が施されています。



## ダブルレッグスタンド

日本にかつてあった動く自転車のように、またいわゆるママチャリのように、二本脚両立で、自転車を直立して立てられ、安定した駐輪が可能なダブルレッグセンタースタンドがチェーンステー台座に装備されました。走行時はチェーンステーに沿ってスマートに収納。アルミ製で軽量化も考慮され、スタンド脚長調整機能も有し、スタンドにも高機能が追求されています。(軽量スタンドのため、重量物搭載や幼児同乗には適しません)

# SWALLOW Promenade <Gents>

# PRM

Size : 500, 540mm  
Color : Steel Gray  
Desert Khaki

¥85,000 (消費税別)



PRM 540mm Gents GY  
(スワロー・プロムナード スチールグレー)



クラフトマンシップ溢れるフレームワークや、PRMのためチョイスされた、アルミブライト仕上げのサムシフター変速レバーとブレーキレバー、メッキ仕上げ砲弾センサーライト、クラシックデザインシステムなどオリジナルパーツ、そして刻印・マーキングされた伝統のツバメロゴ。それらは、贅沢な散歩自転車のために。所有感を満たすARAYAブランドアイデンティティが随所に施されています。



PRM 500mm Gents KA  
(スワロー・プロムナード デザートカーキ)



**ARAYA Rims**  
— TX-733 —

高強度ダブルウォール構造でありながら低いリム高さを有したTX-733は、チューブラーリムと同様のスリプロジョイントも採用。トラディショナルなスポーツ車にもフィットしたデザインも魅力です。

## 自転車散歩考究

ときに、自転車で気軽に遠乗りをしてみたくなる。歩くことよりは、少し行動範囲を拡げて散歩してみたくなる。サイクリングの根源的な基本が、自転車散歩。とはいえ、スポーツバイクでは少し大層だし、一般的な自転車ではその気にさせてくれないのが現状でした。

街に溶け込み、気張らず、しかし見れば乗りたくなくなり、所有感まで満たす自転車。かつての日本で、一般的な自転車のステータスが確立されていた時代、自転車は働きの、移動手段、あるいは買い物用だけでなく、きつとそのような貴重な存在であったはず。

さまざまなスポーツバイクが発展し普遍化する中で、少し忘れられていたジャンルの自転車を考えてみたい。日本のスポーツ車を追求するARAYAブランドのテーマの中で、日本の自転車の歴史と潜在する要求から誕生したスワロー・プロムナード。乗りやすさの中にもスポーツ車の基本設計を埋め込み、スポルティフやランドナーにも通ずるクラフトマンシップの工作が施されました。美しいプロポーションのダイヤモンドフレームサイズと、エレガントでフレームサイズも抑えたミキストフレームを用意します。



# MFB

Size : 420, 470mm  
Color : Gloss Black

¥108,000 (消費税別)



MFB 470mm K  
(マディフォックス・MFB グロスブラック)



MFB 470mm K  
(マディフォックス・MFB グロスブラック)



## 新DEOREフル採用ドライブトレイン

リニューアルされた新DEOREをフルベックで採用。対応幅が拡がり、ワイドレシオの11-42の sprocketを標準仕様としています。プラスチックベックを考慮した+3mmアウトボートのチェーンホイールとリアエンド148mmのプースト仕様。新採用のサイドスイングFDのルーティンゲはダウンチューブ内蔵式で、すっきりした見た目とチェーンノイズ低減に貢献しています。



## オリジナルフォークデザイン

懐かしい行まいと力強さも表現された新設計のフォークは、サイドケージ等取り付けの拡張性を持ちながら、プラス規格タイヤにも対応出来るクリアランスを確保しました。最新の110mmプースト規格の15mmスルーアクスル仕様となっています。



## ARAYA Rims -DW-650-

ARAYAでは、2014年にいち早く27.5サイズのMTBRIM DM-650をリリース。ワイド化するタイヤサイズを考慮して、リム内幅をさらに3mm拡大したDW-650を開発しました。リムのワイド化は、タイヤ剛性向上にも貢献しています。

### マウンテンバイクの進化とともに

マウンテンバイクは進化を続けます。ピーチクルーサーの改造形に始まったとされるマウンテンバイクは、クロスカントリー、ダウンヒル、ダートジャンプと競技の枠を広げながらも、オールマウンテン、トレイル、ストリートと気軽な楽しみ方をも提案しています。「使い方」という枠にとられず、林道ツーリングやパッシングといったカテゴリーにまで用いられる、まさに垣根を飛び越えた万人向けの自転車と言えるでしょう。

第一次マウンテンバイクブームが起きた頃、マディフォックスはその熱気の中に取り込まれました。マウンテンバイクの原点たるフルリジッドの哲学で、自らの体躯を駆使した楽しさを与えてくれます。しかし、ただ昔に捉われていたのではなりません。リア148mm、フロント110mmのプースト規格の採用、サイドスイングFDによるチェーンノイズの低減、最新のSHIMANO DEOREの採用、27.5プラスタイヤの装着を可能とするフレームクリアランス、より幅広になった新型ARAYA RIM DW-650を標準装備と、まさに原点と進化を追い続けるARAYAのマウンテンバイクと言えるでしょう。

| MuddyFox MFB |

# MUDDY FOX SERIES

## スポーツ車の可能性

スポーツ機材としてツーリング用としてあるいは嗜好性を求めて。スポーツ車は、実用だけの世界から距離を置き、自由度が高い乗り物として、今後も様々な背景と用途で発展していくと確信します。作り手側からだけでなく、使う側からも双方の情報発信で進化を続けていくでしょう。

日々進化するハードと、実際のライディングシーンを考え、展開するのがジャパニーズモーター。欧米自転車のハードとソフトウェアの輸入だけでなく、日本の自転車シーンを中心に考えました。それは、徹底的な軽量化を追求したロード、1988年から提唱したCXカテゴリー、いち早く取り組んだ新たなホイールサイズのMTBや遊び心あるミニベロ、実用重視のコミューターなどに顕れています。

1982年に誕生したマディフォックスは、ARAYAの思い描く自由な乗り物、マウンテンバイクを基礎としながら、その枠に囚われず、CXカテゴリーやミニベロにもそれぞれ展開しています。次代のスポーツ車の可能性を求めて、マディフォックスは更なる進化を続けます。



2017 MuddyFox MFB  
(27.5+ custom)



1982 MuddyFox  
\*1st Japanese Mountainbike



2012 MuddyFox 29er



2012 MuddyFox Expert



2014 MuddyFox CX



MUDDY FOX SERIES



# CX

Size : 460, 500, 540mm  
Color : Burn Black

¥85,000 (消費税別)



CX 500mm K  
(マディフォックス・CX パーンブラック)



CX 500mm K  
(マディフォックス・CX パーンブラック)

| MuddyFox CX |

| MuddyFox CX Gravel |

# CXG

Size : 460, 500, 540mm  
Color : Sunlight Yellow  
Burn Black

¥100,000 (消費税別)



CXG 540mm Y  
(マディフォックス・CXG サンライタイエロー)



## オリジナルクロモリフォーク

1.5"フォークコラム対応のオリジナルデザインヘッドチューブから、シルエットの似合うクロモリフォークを新設計。自転車としての美観を保ちつつ、グラベルツーリング用途に応えるアイレットも装備。さらにフラットマウント式のディスクブレーキ台座を採用し、より小さなローター径へのカスタマイズ性とすっきりとした外観にも貢献しています。  
※CX、CXG共通仕様となります。



CXG 500mm K  
(マディフォックス・CXG パーンブラック)

## 新たななるCX

クロモリバイクの始祖たるARAYA CXは、ロードレーサーとマウンテンバイクのハイブリッドバイクとして1988年に誕生しました。当初はMTBよりも日本のオフロードでのツーリングを考えたモデルであり、それは現在のシクロクロスにも通ずるところがあると言えるでしょう。クロモリバイクはその用途を広げ、走行するフィールドも変わりました。ただ街中の舗装路を走るだけでなく、河川敷やあぜ道のような砂利道(グラベルロード)を快走したい。それもロードバイクのように颯爽と。さらにはランドナーのような積載性も欲しい。

CXは期待に応えるべく、さらにその装いを新しくしました。CXは気軽に街中から砂利道まで快走するグラベルコミュニティとして、CXGはさらに遠くへも視野を広げるグラベルツーリングへ特化。そのどちらもが天候や路面のコンディションに性能を左右されにくいディスクブレーキを装備し、共通のフレーム設計には、選択肢の広いフラットマウントのディスクブレーキ台座、SHIMANO E-Thruアクスルへ交換可能なドロップアウト、テーパーコラムに対応できるφ44のヘッドチューブを採用。加えて、ワイドタイヤを装着出来る懐の深さと、多用途に使えるポトル台座をダウンチューブ裏、フォークブレードにまで備えています。まさにCX(SEEKS)の追い求める「ジャンルをクロスオーバーする作り」と言えるでしょう。



## コックピットデザイン

新しくなったSHIMANO Claris R2000をフルスペック。扱いやすいフラットバーロード用ラビッドファイヤーレバーを採用し、メカニカルディスクブレーキと相まって足回りが頼もしいクロスバイクとして、幅広いシーンでCXの使用が可能です。ARAYAレーザーロゴが刻まれたロックリングで固定されるグリップは取り外しも容易で、メンテナンスにも有効な仕様となっています。



## E-Thruアクスル対応

昨近のスポーツバイクの作りにおける、大きな変化の一つとしてあげられるスルーアクスルシステム。CX、CXGでは共通のフレームデザインとして、両サイドプレス可能なドロップアウトを採用。エンド交換により、SHIMANO E-thru(12mm)に対応することができます。  
※CX、CXGともに標準は9mmクイックリリース仕様となります。



## ARAYA Rims-SW-719

ワイド化するロード、グラベル用タイヤに対応して開発された、ロード用ワイドリムSW-719。CXG/CX 標準仕様の700×35Cより幅広いタイヤにおいても、タイヤ剛性を確保して走破性を高めます。ディスクブレーキ専用に設計された断面形状は、ワイドリムでありながらも軽量性も確保しました。



## Selle Royal Remed サドル

長時間座り続けるツーリングにおいて、漕ぎやすさ、座り心地のよさは重要なポイント。ロード用のスマートな形状でベタリングを邪魔しない構造で有りながら、クッション性の高いハイスベックなSelle Royal Remedを標準装備しました。  
※CXGのみの仕様となります。



## TRP Spyre ディスクブレーキ

ワイヤー式でありながら、対向ピストン構造のTRP Spyreを採用しました。パッドの片減りを防ぐと共に、ブレーキング時のローターの歪みと歪みに起因する音鳴りの軽減にも貢献します。また油圧式に比べ輪行時や旅先での心配が少なく、ツーリングに特化したCXGに適した仕様となっています。  
※CXGのみの仕様となります。



## コックピットデザイン

M字に曲がったフレッドロップハンドルバーはツーリングに適した形状。荒れた砂利道や下りでも安定感があり、振りやすくなっています。新しくなったClarisのデュアルコントロールレバーは操作性が向上しただけでなく、シフトワイヤーが内装化されたことでハンドルバーバッグも取り付けやすくなっています。



# EXR

EXCELLA Race

Size : 440, 480, 520mm  
 Color: Matte Black (440, 480mm)  
 Excella Red (440)  
 Excella Blue (440, 480, 520mm)

¥110,000 (消費税別)



EXR 520mm K  
 (エクセラ・レース マットブラック)  
 ※520mm Kの展開はありません。



EXR 480mm R  
 (エクセラ・レース エクセラレッド)  
 ※480mm Rの展開はありません。



EXR 440mm BL  
 (エクセラ・レース エクセラブルー)



## TIAGRAフルセット

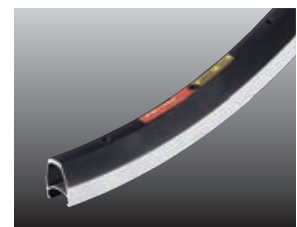
SHIMANO TIAGRAをフルスペック。ブラケットをコンパクトにして操作性を高めたデュアルコントロールレバーや、上位コンポの設計・デザインを踏襲した4アームクランクなど、グレードアップが図られました。  
 EXRのもう一つの特徴であるRitcheyハンドルバー・ステム、シートポストも引き続き採用。軽量化だけでなく、レースからのフィードバックが息づく設計が随所に施されたレーシングコンポーネントです。

### プロダクションロードの追求

競技機材であるロードは、速く走ることが第一義。また、速く走れるということは、軽く楽に走れることも可能。もっと多くの方に愉しんでもらいたい自転車です。しかし、ロード特有のドロップハンドルや価格的高いことなどがハードルになっているのが現実でした。  
 エクセラレースは、競技機材としてのスペックを備えながらも、あらゆるハードルを低くしました。扱い易いデザイン、軽量アルミフレームや、軽量カーボンフォークにより、スポーツ車として誰もが実感できる、8キロ台半ばの超軽量化を実現。浅めのドロップバーに装着された、扱いやすいコンパクトなデュアルコントロールレバーは操作性に優れ、ドロップハンドルが手の動きに合ったハンドル形状であることを実感できることとしよう。メインコンポーネントだけでなく、細部まで高性能を追求し、現実的な価格をも実現しました。  
 プロダクションによるロードは、多くのライダーのためにあるはず。これもまた、ひとつの日本のスポーツ車のカタチと考えます。

## COLUMBUSフォーク

フォークコラムからドロップアウトまでカーボンで構成され、大胆なエアロシェイプのフォークは単体重量で340g台の超軽量。剛性の高い1.5"テーパーコラムも採用しています。



**ARAYA Rims**  
**AR-713**

ARAYA AR-713ブラック/CNCリムで組まれた剛性の高いコンベンショナルホイールは、加速性能の向上に貢献しています。



**COLUMBUS**

MuddyFox Mini

# MFM

Size : 420mm  
 Color: Gloss Black

¥69,800 (消費税別)



MFM 420mm K  
 (マディフォックス・ミニ グロスブラック)



## ロングブレードフォーク

大きくクリアランスの取られたフォークの長さは27.5インチのMFBと同じ設定。これにより、同サイズのサスペンションフォークに換装することが可能です。100-120ほどのトラベル量で設定すれば、フロントサスペンションMTBとしてのジオメトリも獲得できます。ミニベロのフレーム設計の中にもマディフォックスの「日本人と日本の地形を考えたMTB」設計思想を探り入れています。



## サブシートチューブ

主に街中での使用を想定したアッセンブルとなっていますが、幅広く使ってもらえる趣旨の自転車として、フロントディレイラーの装着を考慮してあります。63-66度のフロントディレイラーに対応し、フロント多段階の拡張性を持っています。



## SHIMANO 油圧ディスクブレーキ

普段使いからホビーバイク的な使い方まで幅広いシーンを想定し、シマノBR-M315 油圧ディスクブレーキを標準装備しています。雨天時にも制動力が落ちにくいのももちろんのこと、より広幅なタイヤに換装した場合にも確かな制動力を発揮します。



## ARAYA Rims -TB-507X-

BMXの黎明期1970年末から、ほぼ寡占状態を獲得したARAYA 7Xリムを、現在の材料工学とアルミ成形技術を加えて現代に蘇った20サイズリム。ダブルウォール構造で、軽量化と高強度も実現しました。

## 童心に還る

マウンテンバイクの楽しさとは何でしょうか。MFBに述べた様に幅広いカテゴリーを持ちながら、その幅は留まるどころを知りません。したがって、「最適」という言葉も似合いません。MFMは日常使い出来るタイヤ幅の広いミニベロです。転がりの良いタイヤに、正確な制動力をもたらし、ディスクブレーキを装備。キャリアを装着するなど、頼れる運搬車としても使うことができるでしょう。また同時にマウンテンバイクに匹敵するジオメトリを有しています。勿論、マディフォックスの血統として、フルリジッドの哲学も継承しながら。  
 ロードレーサーが駆けつこなら、マウンテンバイクは鬼ごっこでしょう。色鬼、高鬼、氷鬼。只々気の向くままに遊ばばいい。あとは夕飯までに帰るだけ。カテゴリーズされない楽しみ方を見つけることも、自転車の楽しみの一つと言えます。



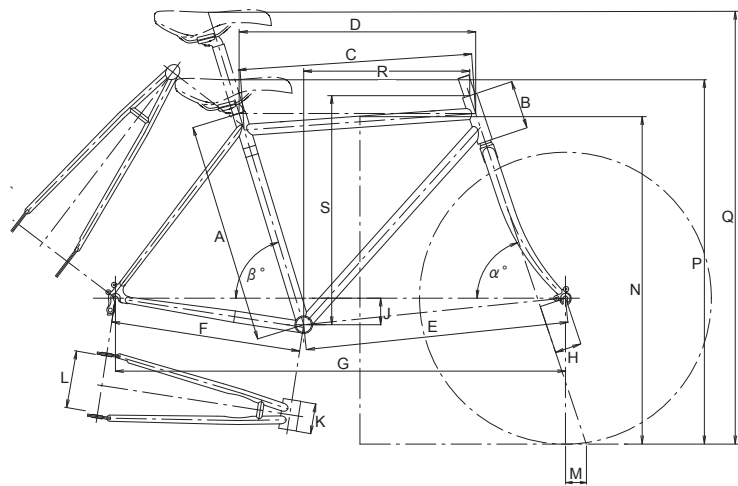
# Info

Geometries and Specifications

	A フレームサイズ	B ヘッドチューブ	C トップチューブ	D トップチューブ(仮想水平)	E フロントセンター	F リヤセンター	G ホイールベース	H フォークオフセット	J BB下がり	K BB幅	L リヤOLD	M トレール	$\alpha^\circ$ ヘッドアングル	$\beta^\circ$ シートアングル	N スタンドオーバーハイト	P サドル地上高(最小)	Q サドル地上高(最大)	R リーチ	S スタック	適正乗車身長範囲	
RAN	550mm	550	130	544	←	600	430	1023	60	60	68	130	46	72.0	73.0	795	885	1057	380	532	140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190cm
TUR	490mm	490	110	512	517	590	430	1013	60	60	68	130	50	71.0	74.0	747	822	997	369	509	
TUR	530mm	530	130	534	←	595	430	1018	60	60	68	130	44	71.5	73.0	775	848	1023	371	530	
TUR	570mm	570	165	548	←	600	430	1023	60	60	68	130	44	72.0	72.5	811	897	1072	370	565	
FED	440mm	440	100	504	522	590	430	1013	60	60	68	135	50	71.0	73.5	711	782	957	370	506	
FED	500mm	500	110	525	535	595	430	1018	60	60	68	135	47	71.5	73.0	744	838	1013	376	517	
FED	540mm	540	135	537	543	595	430	1018	60	60	68	135	45	72.0	72.5	775	874	1049	372	543	
DIA	460mm	460	95	513	525	600	420	1011	50	65	68	130	65	71.0	75.5	737	811	986	391	510	
DIA	500mm	500	95	528	534	600	420	1011	50	65	68	130	62	71.5	75.0	757	848	1023	394	511	
DIA	540mm	540	110	541	542	600	420	1011	50	65	68	130	59	72.0	74.5	784	886	1061	394	527	
PRM	450mm	450	125	523	540	600	435	1028	50	60	68	135	56	71.5	74.0	747	790	963	384	538	
PRM	500mm	500	110	538	546	600	435	1028	50	60	68	135	56	71.5	73.5	775	838	1010	389	524	
PRM	540mm	540	125	552	554	600	435	1028	50	60	68	135	53	72.0	73.0	811	875	1047	388	540	
MFB	420mm	420	90	548	570	620	435	1048	45	60	68	141	71	72.0	74.0	764	753	974	413	544	
MFB	470mm	470	110	562	584	625	435	1053	45	60	68	141	68	72.5	73.5	797	800	1021	416	564	
CXG	460mm	460	90	502	515	590	430	1010	50	70	68	135	68	71.0	75.5	745	803	980	379	518	
CXG	500mm	500	90	521	529	590	430	1010	50	70	68	135	64	71.5	74.5	764	841	1018	383	519	
CXG	540mm	540	110	537	542	595	430	1015	50	70	68	135	61	72.0	74.0	793	878	1055	388	548	
CX	460mm	460	90	502	515	590	430	1010	50	70	68	135	68	71.0	75.5	745	801	978	379	518	
CX	500mm	500	90	521	529	590	430	1010	50	70	68	135	64	71.5	74.5	764	839	1016	383	519	
CX	540mm	540	110	537	542	595	430	1015	50	70	68	135	61	72.0	74.0	790	876	1053	388	548	
MFM	420mm	420	200	524	543	635	425	1057	45	-40	68	135	40	71.5	74.5	756	776	1003	390	546	
EXR	440mm	440	105	499	513	575	410	975	45	70	68	130	62	72.0	75.5	713	782	991	382	504	
EXR	480mm	480	115	514	527	580	410	980	45	70	68	130	62	72.0	74.5	736	819	1029	384	513	
EXR	520mm	520	145	528	540	585	410	985	45	70	68	130	59	72.5	74.0	767	856	1066	383	547	

## フレーム各寸法

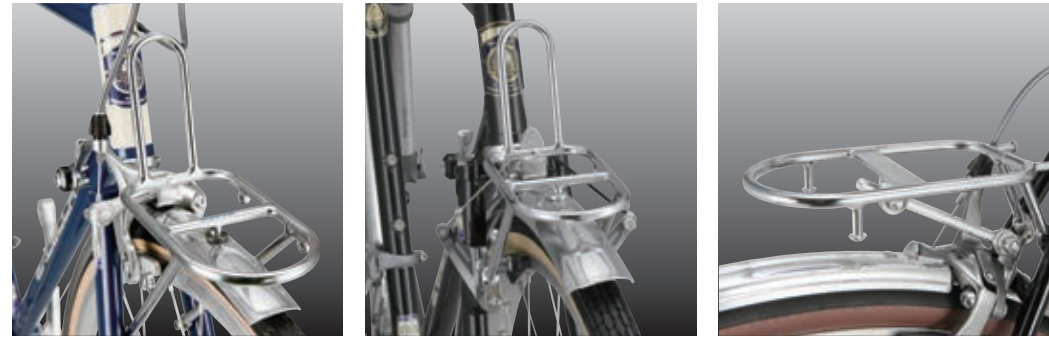
- A. フレームサイズ BB中心からシートチューブ先端まで
- B. ヘッドチューブ ヘッドチューブ長さ
- C. トップチューブ ヘッドチューブと平行の芯～芯間
- D. トップチューブ(仮想水平) ヘッドチューブ交点から水平仮想トップチューブ長
- E. フロントセンター BB中心～フロントハブ軸間距離
- F. リヤセンター BB中心～リヤハブ軸間距離
- G. ホイールベース 前後ハブ軸距離
- H. フォークオフセット フロントフォーク前方へのオフセット量
- J. BB下がり 前後ホイール軸からBB下がり寸法
- K. BB幅 BB(ボトムブラケット)シエル幅
- L. リヤOLD リヤハブエンド幅寸法
- M. トレール ハンドリングの特性などを表す値
- $\alpha^\circ$  ヘッドアングル ヘッドチューブの地面に対する角度
- $\beta^\circ$  シートアングル シートチューブの地面に対する角度
- N. スタンドオーバーハイト トップチューブセンターでの地上高
- P. サドル地上高(最小) サドルを最も下げたときの地上高
- Q. サドル地上高(最大) サドルを最も上げたときの地上高
- R. リーチ BB中心からヘッドチューブ端面までの距離
- S. スタック BB中心からヘッドチューブ端面までの高さ



# Parts

ARAYA  
Optional Parts

## -HARDWARE-



NITTO ARAYA Original ¥10,500 **フロントキャリア <CA-EXS>**  
 NITTO ARAYA Original ¥10,500 **フロントキャリア <CA-RAN>**  
 NITTO ARAYA Original ¥12,600 **リヤバッグサポーター <CA-RRA>**  
 NITTO (フロント/リヤ各々) ¥23,600 **キャンピー フロント/リヤセット**

## オプションパーツ適合表

	CA-EXS	CA-RAN	CA-RRA	Campy-F	Campy-R	FN-BDC
RAN (p03)	—	標準装備	—	○	○	—
TUR (p04)	—	○	—	○	○	—
FED (p05)	—	○	—	○	○	—
DIA (p06)	○	—	○	—	—	—
CXG (p11)	—	—	—	—	—	○
CX (p12)	—	—	—	—	—	○

\*1 フォーククラウン前後貫通穴に固定するHONJOトンボ吊り金具が必要になります。  
 \*2 シートステー取付部分のステーを広げる加工が必要です。無理な矯正はキャリアを破損する場合があります。  
 全てオプションパーツの取付に際しては、一般的な機械構造用ボルト・ナット・スペーサーが必要になります。



前後フェンダー本体 <FN-BDC> ¥5,000

## -SOFTWARE-

コットン:55%,ポリエステル:45%のT/C  
 ダンガリー生地を開発。日本の自転車  
 アパレルブランドrinprojectとのコ  
 ラボレーションによる、新しいアイテムで  
 す。強度と速乾性を併せ持つT/C生地  
 にはバックポケットが備えられ、胸ポ  
 ケットにはMuddyFox、背面にはアラヤA  
 マークの刺繍が施された特別な一着。

ARAYA Original rinproject Produced in Japan  
**MuddyFoxワークシャツ**  
 カラー: サックスブルー ¥12,000  
 サイズ: S, M, L



## カスタマイズの可能性

用途、志向により、カスタマイズができることも、自転車の大きな要素です。スポーツバイクの  
 普遍化により、さまざまなパーツやアクセサリが紹介されています。ベストなグレードアップ  
 を思索して、お店で相談することで、自転車にさらに魅力あるパートナーに進化していくこと  
 でしょう。  
 1980年代のマディフォックスにおけるシオルダーパッド、ハンドルバッグをはじめ、実走から  
 生まれたオリジナルパーツを開発し、日本のスポーツ車を提唱するARAYAブランドだから  
 この提案できるオプションパーツがここにあります。  
 それらアイテムは、ツリリング、あるいは日々の使い勝手をベターにするために、独創設計を行い、  
 あるいは厳選したモノたち。アッセンブルイメージは、各ページのカスタマイズイメージをご参照く  
 ださい。



ARAYA Original Made by Pace in the USA ¥2,500  
**サイクリングキャップ** Free size



ARAYA Original rinproject Produced in Japan ¥3,600  
**シオルダーパッド** カラー: カモフラージュ  
 カラー: カモフラージュ  
 カラー: カモフラージュ

●パーツの価格は、すべて消費税別・取付料別です。●取付は、販売店にご依頼ください。



